

お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

毎々格別のお引き立てを賜り、ありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、このたびはご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、誠にありがとうございます。

今回ご意見を頂戴した中で、一部ご紹介させていただきます。

『什器下等、掃除しにくい場所にチヨウバエ発生して困っています』

ご意見ありがとうございます。

ヘドロやスカム、排水口などの汚れの除去や什器下に水を流すだけでなく、漂白剤などに含まれる次亜塩素の成分を使用して、定期的に希釈して幼虫の駆除を心がけていただければと思います。掃除しにくい場所こそ、対策が必要です。日々の対策で改善されない場合は、コバエ駆除も行っていますので、一度ご相談ください。

『昨年は30匹以上出たゴキブリが、その後現れなくなり助かっています』

ご意見ありがとうございます。

室内の角や什器、棚などの箇所に何千点というFCCオリジナルコーニング剤を施工することによって潜んでいるゴキブリを誘引して食べさせて殺していますので、外から入ってきても必ず駆除出来るため巣ごと駆除しますので、このような結果をいただくことが出来ます。

『大変行儀の良いスタッフで満足です。若い人が汗をかき一生懸命仕事をする姿は素晴らしいです。』

ご意見ありがとうございます。

私たちFCCスタッフは、挨拶や基本的マナーを大切にしております。また、お客様1件1件を永遠のお客様としてお伺いさせていただいております。

掲載スペースの関係で一部のご報告となります。多數のご意見をいただき大変ありがとうございます。いただいたご意見・ご指摘・ご報捷は今後の業務に生かしていきます。

宜しくお願い申し上げます。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専門FAXフリーダイヤル
見ないムシ

0120-32-3164

※一部八島以外はご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・茨城・栃木・群馬・山梨・静岡)

FCC News
2013年9月号 No.0113



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ曆(69)

生活の豆知識

商品紹介

株式会社 FCC



〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel 0466-31-3164
Fax 0466-31-3174
URL <http://www.fccsystem.co.jp>
E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

終戦から高度成長



『海賊とよばれた男』

先人の血の渥む努力が分かる一冊。いや上下で2冊(笑);日本人の武士道も分かります。これが日本男兒です。

終戦までが『永遠の0ゼロ』ならば、こちらは終戦からの復興の戦いです。ちなみにこちらの本に永遠の0宮部が一瞬登場。洒落てます。

坂の上の雲や龍馬がいくもそうですが、日本が大好きになります。社員には終戦記念日からはこちらを本を読むことを勧めています。

あとこの本では、日本の経営も学べます。同友会です。人間尊重です!一文だけ紹介しましょう。

「出来が悪いというだけで家族の縁を切ることがないように、国岡商店も首にはしない。むしろ、そういう店員をいかにして教育していくかということが会社の使命ではないかと思っている。」

出来の悪い社員を辞めさせ、すぐれた社員ばかりでやっていく—これを少数精銳主義と呼んで尊重する風潮もあるが、そんなものは私に言わせれば、単なる利己主義である」
すばらしい!

靖国

本日は68回目の終戦の日。



私は毎年前日に靖国神社へ参拝に行きます。英霊に感謝を伝えます。

昨日の午前中は今にも泣きだしそうな天気でした。でも境内に入ると日差しが出てきました。私は神社に行くときはいつも晴れです

今の平和に感謝。幸せな日本に生まれて感謝。やるぞ!って気合が入ります。

ところで弊社の全体会議っていつも変わっています。会議をあまりやらないです。経営者と社員の心の啓発です。

今度は遊就館にみんなで行こうかなあ、って。特攻隊の方々の達筆な手紙を読みます。そしてそこに秘められた感情を汲み取ります。

変な会社ですが、こういう会社もありかなって。

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCC社員コラム

サトル主任の初志貫徹日誌

お盆

お盆と言えば、やはり一番は墓参りです。地方に実家がある人は、里帰りをする時期になります。

日本の古くからの習わしで、大半の方は墓参りに行かれて、仏壇に線香を手向けるのではないかでしょうか?

私も、父や先祖の墓に行きました。私は、江の島の近く片瀬海岸にあるお寺などに行くのですが、いつも気持ちが一新されます。

神聖な空気漂う場所で、先祖を思い出すことの大切さと、今の自分がいるという、ありがたさを感じます。

私の父は、今年で33回忌を迎えまして、一般的に神様となる年に当たります。私も、父と別れて33年経ったのかと、自分の人生を振り返り母へ感謝しました。

このように、元気に不自由なく生きてこれたことが、幸せです。

また、終戦記念日となる15日も、日本の多くの先駆者に祈りを捧げる日で、戦争がその時あったから、二度とない国として、安全で平和な日本があるのだと思います。

体を休め、楽しむ休みだけでなく、本来の日本の習わしを大切にする日々も感じていければと思いました。

異常気象とムシの異常多発の話

この所、テレビや新聞などの報道で目を引いたのは、猛暑記録の話や集中豪雨などと異常気象の話である。

早くから「地球温暖化」の話は、耳にしていたが、こんなに厳しい現実を追えるとは全く予想もしていなかった。

最近、高知県の四万十川で気温が41℃という、日本一の猛暑となったという。しかし、これで知名度が上がったと、喜んでばかり居られないようだ。

それは、四万十川の名物の「あゆ」が、採れなくなってしまったのだ。川の水温が、「あゆ」の生育限界を越し、生育が出来なくなつたからだといふ。

温度の影響は、思いもよらない所で、出て来た。人は、まさか、こんな所でと驚いているが、これは、「天変地異」なのだろう。

このような温度の影響は、「虫の世界」にも起こっているのだ。その種類によっては状況を大きく変えてしまう。

虫の異常多発については、農業害虫の「バッタ」や「ウンカ、ヨコバイ」の例で良く知られているが、今、全く予想もしていなかった「虫」が、騒動を起こしている。

それは、「ガ(蛾)」の仲間の「マイマイガ」と称する虫である。

今年、この虫が、北は北海道の札幌、東北地方、岐阜県、関西地域では、大量発生が話題になっている。

この原因は、例年より早く発育適温期を迎えたからだといふ。地域によっては、市がホームページでお知らせを出している程の状況である。

では、この「虫」はどんな虫なのだろうか、その周辺事情を探ってみよう。

この虫は、世界に広く分布するが、もともとは、北半球温帯地域に分布していた種類である。

幼虫の食性、脚は、多くの森林植物(広葉樹やカラマツなどの針葉樹)や果樹類の葉である。

長い幼虫期間に、葉を食い荒らし、木を丸坊主にしていくので森林害虫とされている。

虫としては、蝶(チョウ)の仲間の一科であって、蝶(ガ)と称されるが、毒蛾(ドクガ)の一味である。

通常の活動場所は、森林地帯である。その生態は、耳一世代であって、成虫は7月下旬から8月にかけて羽化する。

成虫の寿命は、7日から10日であるが、その間に産卵する。産卵は、卵塊状にし、一卵塊には、1000から10000匹の幼虫が居るといふ。一匹の雌は、一生に一卵塊しか産まないようだ。

卵塊は、そのまま越冬して、日中の気温が、18℃を越える温暖日が続くと幼虫が出てくる。この温度帯が、早くなると発生が早くなり、季節はずれの異常多発として、大きな話題になるのだ。

孵化した幼虫は、約2ヶ月ぐらゐの間に食害を続けながら5回から6回ぐらゐ脱皮をして体長6cmぐらゐの老熟幼虫となる。

広大な森林地帯で、大量発生を繰り返している内は、以上に気づかないが、開発が進み都市化すると問題化する。

人間が、不用意に自然界に入り込んで行くと、その境界線上で思いもかけなかつたことが起こる。

今、起こっている「マイマイガ騒動」もその1例である。マイマイガの雌成虫は、市街地の明かりに反応し、街路灯に飛沫、群舞するが、その様は、まさに「虫吹雪」である。

森林からあふれた成虫は、電柱、住宅の壁、よう壁と所かまわず、卵塊を産み付ける。群が産み付ける卵塊の量は、普通ではなく、住民にとっては不快・不潔もさることながら不安の方が大きい。

しかし、この騒動は、虫にとっては、数年間隔でくり返す自然現象で、人が余りにも自然を忘れ過ぎた所産なのである。

驚いたことに、このマイマイガ問題は、港に停泊している船舶の灯火に飛沫し、大量の卵塊を産み付けるので研究課題になっているといふ。

乱開発になれた人間は、今、環境の一寸度した変化が、周辺の生物群の生活のリズムを崩すということを忘れてしまったらしい。

今、怖いのは、昔、「毒蛾」が多発したことがあったが、忘れてしまったことだ。マイマイガは、この毒蛾の仲間なのだ。

日常生活の場での「行事」は人に自然との付き合いかたを教えていたことを忘れないようにしたい。

【写真説明】

庭への茂樹類に潜む“ケムシ”
もっとこんな虫達に关心を持つて欲しい



生活の豆知識

衣類や食材を害する虫 『カツオブシムシ』

皆様こんにちは。

今世間をにぎわせています『食の安全性』の問題。その問題の一つに異物混入問題があります。今回は、異物混入で度々名前の季がる『カツオブシムシ』という虫の防虫について取り上げます。

カツオブシムシの成虫は不快ということを除けば害ではなく、主な被害は幼虫による食害です。幼虫が動物性の乾燥食品や穀物等を食害します。主な種類は、ヒメカツオブシムシとヒメマルカツオブシムシの2種です。

これらの種は5~6月に成虫が発生し、約1ヶ月の寿命の間に衣料繊維や食材等に200~1000の卵を産み付けます。卵期は温度により10~30日程で孵化します。幼虫期は通常3000日程で、冬は食害した加害物や建物の隙間で越冬します。

☆環境改善しまましょう！

厨房における何よりの対策は、しっかりと食材を容器へ密閉保存することです。ヒメカツオブシムシの成虫は体長4mm程度なので、僅かな隙間からでも侵入し、食材に産卵します。

また、綿織物や毛織物、羽毛、皮革などの衣料繊維も食害する形、衣類から大量発生して食品まで被害が及ぶこともありますので、衣類からの被害も防ぎましょう。

- ・衣類の汗や食品による汚れは好んで食害されますので、収納前にクリーニングをしましょう。
- ・クローゼットやロッカー等、衣類を収納する時は詰め込みすぎず通気を良くしましょう。よく晴れた日の日中に2~3時間ほど陰干しをするのも有効です。

カツオブシムシの抑制は、食材への被害を防ぐだけではなく、衣類の虫食いを防ぐことにもなりますので、実践してみては如何でしょうか？

皮膚バリア機能の主役、垢

皆さんは「垢」と聞くと不潔なイメージがあるのではないでしょうか？

頭皮に出来るフケや爪の垢、耳垢、膚のごまなどが一般的な垢とされています。垢、というのは皮膚の一番上の角層が古くなり、剥がれ落ちた物なので不潔で不必要的物と思われがちです。

しかし、不潔だからと言って垢コスリでゴシゴシと徹底的に落とそうとすると、逆に身体に悪影響が出てしまう事を皆さんはご存知でしょうか？垢は、実は皮膚のバリア機能の主役を担っている為、落としすぎるとバリア機能と防御力の低下を招いてしまいます。

この皮膚のバリア機能の低下と免疫異常が原因でアトピー性皮膚炎を発症してしまったり、垢コスリで垢を落としすぎた為に湿疹を起こす人もいます。

必要な垢を無理に落とす垢コスリは使わなくても、1日1回入浴する事で、身体の表面にある不需要な垢は取る事が出来ます。身体の表面の垢だけでなく、耳や鼻、爪などの垢も無理に取ろうとすると傷をつけてしまう可能性がある為、優しく掃除する様にして下さい。

また、垢が出ない方が良いと思われて居ると思いますが、垢が出ない=皮膚が再生しない=老化ですので、垢が出ている間は健康な皮膚の証になるのです。

人間に於て垢は不必要的ものであり、尚且つ必要なものもありますので、過度に落とそうとするのではなく、適度に落として皮膚の健康を守りましょう。



FCC商品紹介

人体や環境に優しい洗濯洗剤です

FCCのピュアマイルド (洗濯用)

ECO



1個：5,040円

市販の洗濯用洗剤や柔軟剤などで洗濯した衣類やタオルを使用して、肌が荒れてしまったりする方にオススメしたいのが、このFCCのピュアマイルド(洗濯用)です。

厨房用のFCCのピュアマイルドと同様に、汚れを落とす成分が松やヤシの油など100%植物成分ですので、お肌の弱い方や赤ちゃん、アトピーなどをお持ちの方でも安心してご利用頂けます！

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！

気になった方は

衛生用品.com

検索